

運営方針に係る評価の実施方法の見直しについて（案）

1 運営方針に係る取組の概要

- ・本市では、平成 23 年度から「施策の選択と集中」の取組の全体像を示す運営方針を毎年度、全所属において策定し、その評価結果を次年度の運営方針や予算編成に反映させることで、P D C A サイクルを徹底している。
- ・運営方針に係る評価は、より実効性のある P D C A サイクルの構築を目的として、各所属による「自己評価」、市政改革室による「内部評価」、有識者会議による「外部評価」を実施している。
- ・但し、区運営方針については、区政会議委員から意見や助言をいただくため、有識者会議による外部評価は実施していない。また、内部管理分野（8 局）は他所属の指導等を行う統括部局であり戦略を伴う課題が少ないことから、平成 26 年度以後、ダイアログの対象から除外している。
- ・運営方針に係る取組に加え、市政改革室では、近年、各所属における P D C A サイクルの推進を支援する取組を進めている。

○研修・支援

新担当者研修、実践研修、階層別研修、運営方針説明会、サポートメニュー

○成果を意識した取組一覧表の策定

各所属が運営方針に掲げた取組以外で成果を意識して取り組んでいる事業を取りまとめたもの

○情報発信

総合情報紙「P D C A マガジン」、G I F アニメ「P D C A 1 分間劇場」、「P D C A の振り返り」

2 これまでの取組の成果

【運営方針や成果を意識した取組の浸透】

全ての所属に「運営方針の取組」「成果を意識した取組」が浸透（26 年度職員アンケートより）

※ 「運営方針の取組」の認知 24 年度 96.0% → 26 年度 100%

※ 「日頃から成果を意識して業務に取り組んでいる」所属 24 年度 93.1% → 26 年度 100%

【適正な自己評価の浸透】

各所属で客観的に適正な自己評価を実施（26 年度運営方針自己評価の内部評価結果より）

※ 内部評価結果における指摘事項数 24 年度 184 件 → 26 年度 18 件

【適正な自己点検の浸透】

9 割以上のチェック項目で適切に運営方針を策定（チェックシートによる自己点検結果より）

※ 運営方針の策定において適切と判断したチェック項目 25 年度 82.4% → 26 年度 91.4%

3 評価の実施方法の見直しについて

- これまでの取組によって、運営方針の評価の適正化は着実に進んでおり、来年度以降、運営方針に係る評価の実施方法を次のとおり見直すこととする。
 - 自己評価及び内部評価は、これまでどおり実施する。
 - 外部評価（外部評価シート・ダイアログ）については、毎年度実施から周期的実施へ変更する。

4 見直し案について

- 外部評価シート及びダイアログの実施を2年又は3年周期とする。その組み合わせとしては、下表のとおり、①～④の案が想定される。

	自己評価	内部評価	外部評価	
			外部評価シート	ダイアログ
現 行	毎年度実施			
① 案	毎年度実施		3年周期	
② 案	毎年度実施		2年周期	
③ 案	毎年度実施			3年周期
④ 案	毎年度実施			2年周期

- 事務局としては、各所属や有識者会議委員の負担軽減といった観点を加味すると、外部評価全体を3年周期で実施することが妥当と思慮するので、上記案のうち、①案を選択したいと考える。